

経営概況について

2001年11月26日

九州電力株式会社

経営の基本理念

当社を取り巻くステークホルダー（お客さま，従業員，社会，株主・投資家の皆さま）の満足度向上

お客さま

- ・ 真に「価値がある」と認めていただける商品・サービスの提供

従業員

- ・ 一人ひとりが能力を伸ばし，やりがいと誇りを実感できる環境整備

社会

- ・ 公正な事業活動，幅広い環境活動，地域貢献を通じた社会との共生

株主・投資家

- ・ 選択と集中，徹底した効率化による収益性の向上と財務体質の強化



お客さまの満足，従業員の働きがい，社会の信頼を通じて，株主・投資家の皆さまの期待に応えていく

経営目標（1999年3月設定）の達成状況

2001年度の経常利益は，前年度に引き続き，1,000億円程度の高水準となる見通し
1999年設定の経営目標（2003年度までを対象）は前倒しで達成できる見通し

年度	1998	1999	2000	2001 [見通し]	(%, 億円)
株主資本比率	15.7	17.1	19.1	19.6	経営目標 20 (03年度末)
有利子負債削減額 [残高]	513 [27,326]	1,300 [26,026]	737 [25,289]	380 [24,900]	2,000 (00~03年度累計) [03年度末 24,000]
ROA (当期利益/総資産)	0.6	0.6	1.5	1.6	1.5 (00~03年度平均)
ROE	3.8	3.6	8.3	8.2	8.0 (00~03年度平均)
経常利益	545	682	1,119	1,000	900 (00~03年度平均)

(参考)

ROA (税引後営業利益/総資産)	2.4	2.8	3.3	2.8
FCF (営業活動CF - 設備投資)	875	1,298	1,093	600

より高い経営目標への挑戦

新規参入者との競争の本格化，分散型電源の導入拡大など，厳しい経営環境の中で競争し，また資本市場の期待に応えるために，より高いレベルの経営目標の設定が必要



収益力の向上，財務体質改善の加速化を盛り込み，2002～2006年度の5か年間でターゲットとする新たな経営目標を設定（2002年3月）

収益力の向上

- ・ 資本コスト（4%程度）を満たすROA（総資産税引後営業利益率），ROEを目指す

財務体質の改善

- ・ 有利子負債返済のスピードを更に加速化

競争環境を踏まえた，機動的な料金値下げ

経営効率化の推進

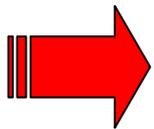
「価格競争力の強化」と「より高い経営目標の達成」のために、
経営効率化を加速

経営効率化計画に基づく効率化策の展開

- ・ 設備投資，修繕費，諸経費などの削減
- ・ 要員の大幅削減，事業所統廃合など業務運営の効率化

責任体制の明確化によるコスト管理の徹底

- ・ 本部制の導入（2000年7月）
- ・ 執行役員制度の導入（2001年6月）
- ・ 管理会計制度の導入（試行運用：2001年4月，本格運用：2002年4月）



「ITの活用」「TQMの推進」により，業務プロセスの革新を
行い，効率化目標の深掘りを目指す

お客さま第一主義の実践

広くお客さまニーズを収集・分析し，より価値のある商品・サービスを提供することによって，お客さま満足度の向上を目指す

[お客さまニーズへの対応強化策]

CRM（カスタマー・リレーションシップ・マネジメント）

- ・ 「足で稼ぐ営業」による顧客情報の収集（専任スタッフ50人配置）
- ・ 顧客情報管理（お客さま総合データベースの構築）

トータルソリューション

- ・ 蓄熱システム，分散型電源などによる総合エネルギーコスト低減コンサル（2001年10月末現在契約件数 蓄熱事業：208件，分散型電源事業：43件）
- ・ ソリューションメニューの拡充（蓄電，省エネ・環境コンサル，ガス供給）
- ・ ソリューション営業体制の強化

ワンストップサービス

- ・ コールセンター，インターネットホームページの充実強化

グループ経営の強化

4つの事業領域での新規事業展開とグループ経営管理体制の確立

[事業領域の選択]

総合エネルギー事業 : LNG販売事業, 分散型電源事業など

情報通信事業 : 光ファイバ心線貸し事業, 高速インターネット事業など

環境・リサイクル事業 : 廃棄物発電事業, リサイクル事業など

生活サービス事業 : 介護事業, 住宅関連サービス事業など

[グループ経営目標の設定]

「連結ROA」及び「グループ外売上高」を目標に設定(2002年3月)

[グループ管理]

「キャッシュ・マネジメント・サービス」の導入

「グループ業績評価制度」の検討

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境に関する前提条件の変化などに伴い、変化することにご留意下さい。